

地元の子どもたちを招待 どりいむ農園雪まつり



2月11日、どりいむ農園で雪まつりが行われました。町下地区の保育園児や小学生が招待され、駐車場などに高く積み上げられた雪山で楽しく遊んでいました。また、縦約2㍍・横約1㍍に固められた雪を削って雪灯ろう作りを体験。保護者のかたも含め約50人が参加し、2時間ほどかけて5体の立派な灯ろうが作られました。辺りが暗くなると、どりいむ農園周辺は灯ろうのやさしい光に包まれていました。

開発途上国のために三校合同エコ活動 ペットボトルキャップを贈呈



2月17日、東西中学校と荒砥高校の生徒たちが集めたペットボトルキャップの贈呈式が山形銀行荒砥支店で行われました。3校は合同エコ活動を行い、地域のかたがたの協力もあり約13万個のキャップを収集。山形銀行は、平成21年から開発途上国の子どもたちにポリオワクチンを送ることができる「エコキャップ推進運動」に取り組んでおり、今回贈呈されたキャップは、ワクチン約163人分になるということです。

この日だけは雪を満喫！ 西田尻地区冬季レクリエーション大会



2月12日、西田尻公民館の広場で、第30回西田尻地区冬季レクリエーション大会が開催されました。時折吹雪きが舞う中で大会となりましたが、西田尻体育部会長（鈴木誠さん）の「今日一日は、やっかいな存在である雪と楽しもう」という言葉のとおり、地区のみなさんは寒さも忘れ、笑い声が絶えない大会となりました。当日は約200人が参加し、蚕桑10町内が優勝を飾りました。（写真は二人三脚雪積みリレー）

わたしが、あなたができること 認知症講演会を開催



2月19日、健康福祉センターで認知症講演会が行われました。「認知症の人と家族の会」山形県支部世話人代表の山名康子氏に、認知症のかたを介護するときの気持ちの持ち方や、制度の有効な活用についてお話をいただきました。自分も介護をしているという講師のお話しに、参加者のかたは「実体験を交えた話でわかりやすかった」「自分もなりうると考えないといけない」など、認知症について理解を深めていました。

法務大臣表彰を受賞

千葉君子さん（荒砥乙）

千葉さんは、これまで18年間という長い期間、保護司として活動されてきました。その間、保護観察を受けている少年や大人の指導、刑務所や少年院に入っている人の帰住先の環境調整、犯罪予防活動を精力的に行ってこられました。

これまでの功績に対して、この度法務大臣表彰を受賞されました。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。

